

令和7年度 農山漁村振興交付金(地域活性化型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された農山漁村振興交付金 地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用価値創出推進事業(地域活性化型)の事業について、「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」の別記1の第5の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和7年度に交付金事業を実施した4地区のうち評価対象である2地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が2地区となった。

3. 各地区の評価結果

2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
中国四国	島根県	出雲市	ひらた地域ファンづくり推進協議会					● ▼	● ▲	● ■		A	平田地域の魅力増大と認知度の向上により、地域内外の交流の促進を通じた地域産品の流通拡大と地域経済の活性化を図るために体験ツアーによるUIターン促進に繋げ、地域を支える新たな担い手の確保と地域活力の創造を図っている。特に令和5年度からアンケート調査を実施し、平田への移住関心者に対して、平田の魅力を発信し、移住者の増加に向けた取組を行っている。以上のことから、優良と評価する。
中国四国	島根県	安来市	いいな飯梨					●	●	● ■		A	さつまいもを使った商品でイベントに参加するなど、飯梨地区を知ってもらうことで交流人口を増やしている。さつまいもの商品開発については櫻苑と引き続き共同開発を行うとしている。企業誘致については、コクヨーと農業経営や技術指導の関係を構築し、企業の知恵をいいな飯梨のさつまいも栽培に活かしている。関係人口の増加や、SNS等での飯梨地区の魅力発信に引き続き取り組むこととしている。以上のことから、優良と評価する。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)
重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)
(注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長: 駄田井 久(岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域准教授)
委員 : 木村 京子(香川県農業協同組合 五名女性部部長)
委員 : 弥勒院 琢磨(株式会社農協観光 四国支店 地域共創課長)

【令和8年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

1 日 時 : 令和8年8月19日(水) 13:30～15:00

2 場 所 : 中国四国農政局4階会議室

3 議事概要

① 令和8年度評価対象地区の評価方法について

本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。

② 令和8年度評価対象地区の評価及び取組状況について

令和7年度に事業を実施した2地区及び地域活性化型活動計画策定事業全体について、質疑応答を行った。各委員からの助言・コメントを委員会の助言・コメントとして意見集約した。

4 主な意見

【評価内容】

・両地域とも、地域資源を活用した特色ある取組により、地域の魅力向上と交流人口・関係人口の拡大に大きく貢献している。平田地域では体験ツアーや移住促進の情報発信を通じてUIターンの推進と担い手確保に取り組み。飯梨地区ではさつまいもを活用した商品開発や企業との連携により地域活性化を図っている。いずれの取組も地域課題の解決に密着して取り組まれており、地域経済の活性化と持続的な地域づくりに寄与している。

・それぞれに地域の特産を生かし、上手に取り組んでいる。

・平田地区ではUIターンを地域の担い手にしていることは将来の活性化に繋がっている。 いいな飯梨地区では継続的な特産を作り、それらを上手にイベントに繋げて関係人口を増やし地域の活性化に繋がっていることは素晴らしい。

・それぞれの地域の農産物や特産物をうまくブラッシュアップし、魅力的な商品に開発した結果、開催されたイベントには多くの来場者があり、地域資源を活かして交流人口が増加した点で成果が見られる。

・実績として、多くの来訪者があったことから、地域やイベントの認知度も向上し、リピーターも増加している。SNSでの発信効果も併せて、今後さらなる事業の拡大が見込まれることが評価できる。

【課題と今後の取組に向けて】

・特になし。